

病 診

連 携 室 だ よ り



JA静岡厚生連
遠州病院



〒430-0929
静岡県浜松市中区中央1-1-1
TEL (053)453-1111 (代表)
(0120)928-901 (病診連携室)
byohshin@kenja-shizuoka.or.jp

発行責任者 : 室長 石塚 知己

心臓リハビリテーションのご紹介

急性心筋梗塞や狭心症、心不全や大動脈疾患などの循環器疾患で入院された患者様の中には、治療に伴い身体機能の低下が見られる方や重複障害を来した方、入院前または入院を契機にADLの低下が顕著となる方がいらっしゃいます。

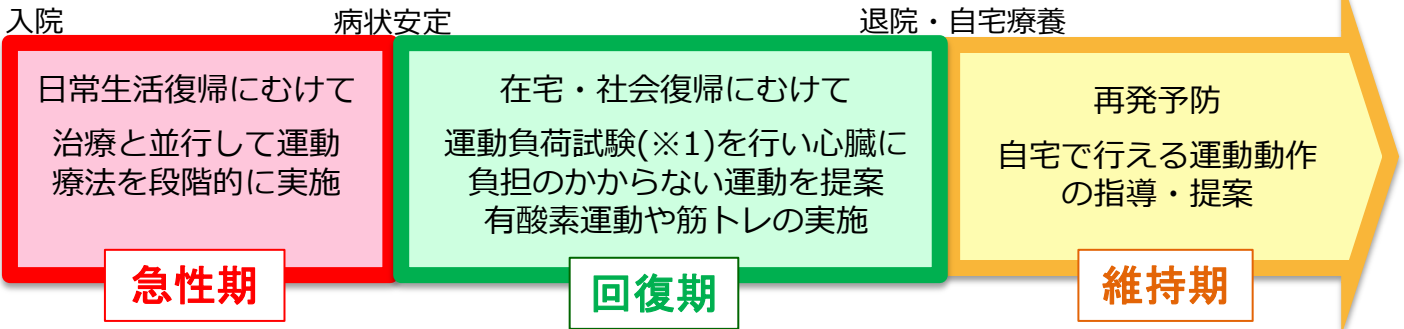
心臓リハビリテーション(以下、心臓リハビリ)ではそういった方に対し、運動療法や学習活動、生活指導、相談といった総合的な活動プログラムを提案し、効果的なリハビリを実施します。

体力を回復し自信を取り戻すことで、快適な家庭生活や社会復帰を目指すことを、心臓リハビリでは目的としており、日本心臓リハビリテーション学会では、心臓リハビリを行うことで以下の効果があるとしています。

- ・日常生活での息切れが軽くなる
- ・筋肉量が増えることで、心肺機能が改善される
- ・血管が広がりやすくなり高血圧が改善される
- ・動脈硬化が進みにくくなる
- ・自律神経が安定して不整脈の予防になる など



当院での心臓リハビリテーションの特徴



当院では、急性期から維持期にかけての心臓リハビリを、継ぎ目なく提供することができます。

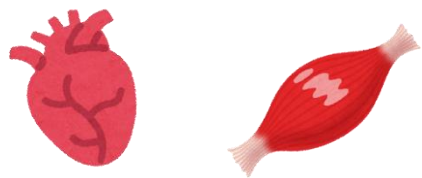
循環器内科での急性期治療と並行しながら、心臓リハビリの提供を行い、一般病棟でのリハビリはもちろん、必要と認められれば、回復期病棟でリハビリを継続することもできます。

退院前には自宅で継続できる運動の提案をし、退院後もリハビリ継続のご希望があれば訪問リハビリの利用も可能です。

※1 運動負荷試験の内容については裏面参照

3. 心肺運動負荷試験（CPX）

呼気ガスモニターと呼ばれる機器を用い、専用のマスクを装着しながら運動を行うことで空気の流量やガス濃度を感知し、体にどのくらいの負担がかかっているかを調べる検査です。医師立ち合いのもと心電図や血圧を測定しリスク管理をしながら行います。



CPXからわかること

・狭心症や心不全の重症度評価

どのくらいの活動レベルで狭心症の悪影響が出るのか、運動時の心機能や呼吸機能、骨格筋機能等が正常かどうか評価できます。

・息切れの鑑別

CPXの結果とその他の検査(心エコー検査、血液検査等)から息切れの原因が心臓や肺によるものなのか、貧血や体力低下によるものなのか鑑別できます。

・自分に合った運動負荷

循環器疾患がある方でも長時間安全に続けられる運動の強さがわかります。また、日常生活の中で安心して行える活動と控えた方がよい活動がわかります。

※心臓リハビリのことでご不明な点がありましたら、まずは連携室にお問い合わせください。

● 令和4年1月 退職医師 お世話になりました

耳鼻咽喉科：関 敦郎

病診連携室 対応時間

<平日> 8:30～19:00 <休日を除くすべての土曜日> 8:30～12:30

☎: 0120-928-901

FAX: 053-401-0079

☆ どうぞご遠慮なくご連絡・お問い合わせください

※ 上記以外のお時間・休診日の電話は、対応窓口(防災センター)へ転送しております。